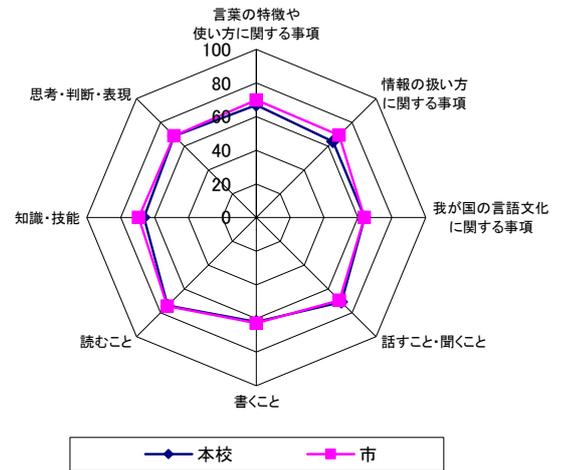


# 宇都宮市立御幸小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	66.9	69.9	72.3
	情報の扱い方に関する事項	63.9	69.2	73.0
	我が国の言語文化に関する事項	63.9	63.8	66.0
	話すこと・聞くこと	71.0	69.5	71.5
	書くこと	62.0	62.8	67.1
	読むこと	74.0	74.4	73.7
観点別	知識・技能	66.3	69.4	71.9
	思考・判断・表現	68.6	68.8	70.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	<p>平均正答率は66.9%で市平均より3ポイント低い。</p> <p>○段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書く問題では、市の平均正答率より8.6ポイント高い。</p> <p>●文章の中で文脈に沿った漢字を適切に使う問題では、市の平均正答率より、7.4ポイント低い。</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <p>・漢字ドリルやAIDドリルを活用した漢字練習を今後も計画的に実施し、漢字を正確に書く力や読む力の定着を図っていく。</p> <p>・文章を書く活動などで、漢字を正しく文脈に沿って使用できるよう指導していく。</p>
情報の扱い方に関する事項	<p>平均正答率は63.9%で市平均より5.3ポイント低い。</p> <p>○説明文の内容を読み取り文章の情報を整理する問題の平均正答率は市の平均正答率と同程度である。</p> <p>●ポスター作りで目的に応じて、文章を簡単に書く問題では、市の平均正答率より、約10ポイント低い。</p>	<p>・国語だけでなく他教科等においても、目的に応じて集めた情報を分類したり関連づけたりしながら自分の考えを文章にしてまとめる活動を意図的に設けることで、情報を収集して活用する力や文章表現力を高めていくようにしていく。</p>
我が国の言語文化に関する事項	<p>平均正答率は63.9%で市平均と同程度である。</p> <p>○語句の由来に関心をもち、和語、漢語、外来語についての理解についての問題では、市平均正答率より、0.1ポイント高い。</p>	<p>・和語、漢語、外来語について関連する本を紹介して調べ学習に取り組みせたり、ことわざや慣用句、故事成語などを用いて文を作る活動を取り入れたりすることにより、言語文化への興味・関心を深められるようにする。</p>
話すこと・聞くこと	<p>平均正答率は、71.0%で市平均より1.5ポイント上回っている。</p> <p>○インタビューの内容を聞き、話の内容を聞き取る問題では、市の平均正答率より5.8ポイント高い。</p> <p>●意図に応じて質問を工夫しているかどうか聞き取る問題では、市の平均正答率より2.3ポイント低い。</p>	<p>・いろいろな学習の場でグループで協力し合って調べたり、意図に応じて質問を工夫し良かったことをまとめ表現する活動を多く設定していく。</p> <p>・学習活動全体において、相手の話を正確に聞き取ったり、自分の考えを表現したりできるよう聞き合い学び合う活動を意識していく。</p>
書くこと	<p>平均正答率は、62.9%で市平均と同程度である。</p> <p>○段落の役割について理解し2段落構成で文章を書く問題では、市平均より、8.6ポイント高い。</p> <p>●自分の意見とその理由を明確にして書く問題では、市の平均正答率より5.5ポイント低い。</p>	<p>・国語科をはじめとして、他教科や特別活動においても、定められた字数や段落等の中で、自分の考えを簡潔にまとめる活動を多く取り入れていく。</p> <p>・自主学習、日記などでも日常的に書く活動を取り入れ、自分の考えを文章表現することに慣れさせていく。</p>
読むこと	<p>平均正答率は74.0%で、市平均と同程度である。</p> <p>○物語の内容を読み取り、登場人物の心情について、描写を基に捉える問題では、市の平均正答率より2.7ポイント高い。</p> <p>●説明文の読み取りにおいて、内容を叙述を基に捉える問題では、市平均より4.5ポイント、物語の読み取りにおいては、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる問題で、3.3ポイント低い。</p>	<p>・物語文では、文を大切に描写を正確に読み取り、まとめた意見をグループや全体で交流できる時間を大切にし、友達の考えを聞いて自分の考えを広げられるよう工夫していく。</p> <p>・説明文では目的に応じて、意見の根拠となる部分を適切に引用したり、要約したりする学習を取り入れて内容を正確に捉えられるようにする。</p>